

木を利用した子育て・子育て環境の整備
ウッドスタート事業で積み木を贈呈

11月18日、本年度から本町で生まれた子どもに対して、木製のおもちゃを送る「ウッドスタート事業」を開始。第1号の安在さん(上押方)親子への贈呈式が行われました。

この事業は、赤ちゃんの頃は人生の中でも一番五感を使い生きていると言われおり、小さいころから木に触れることで感性を養い豊かな心を育むなど木育の一環としており、森林環境譲与税を利用しています。



校内で呼びかけ
募金活動で集めたお金を寄付

11月13日、高千穂小学校の高千穂みどりの少年団(山田有美香団長)から、町緑推進会議(会長は藤本昭人副町長へ、集めた募金が手渡されました。

団員らは、10月8日から3日間、学校の玄関に立って募金活動を行い、募金したお札に折り紙で作った手づくりのネックレスやバッジを配布しました。

山田団長は「緑をたくさん増やすために使ってほしい」と話しました。



健康への感謝
車いすを送り続けて7年

11月8日、白瀬美保子さん(上野)が、車いす1台を町に寄贈しました。

白瀬さんは「今年も健康で働くことができました。町で有効に活用してください」とあいさつ。

町長は「これまでいただいたものについては、庁舎や病院等で活用させていただきまます」とお礼を述べました。

白瀬さんから送られた車いすは、今年で7台目となりました。



日本近代登山の父をしのぶ
第37回宮崎ウエストン祭

11月3日、五ヶ所の三秀台で、第37回宮崎ウエストン祭(町・日本山学会宮崎支部主催)が行われました。

式典では、地元小学校児童による点鐘や献花などが行われた後、全員でウエストン祭の歌の合唱が行われました。式典終了後は、五ヶ所野菜集出荷場で田原地区村おこし推進協議会吉水寿一会長主催の交流会が行われ、歌や踊り、バザーなどで会場は盛り上がりました。



国スポ・障スポの開催に向け
本町実行委員会を設立

11月25日、第81回国民スポーツ大会及び第26回全国障害者スポーツ大会「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」令和9年9月開催)の高千穂町実行委員会の設立総会と第1回総会が行われました。

町長を実行委員会会長としたその他委員等の組織や事業計画などが決まり、正式競技「剣道競技」と公開競技「モルック」の開催に向け、町教育委員会に事務局を置き業務を行っていきます。



建設業を知るきっかけに
土木の日ふれあい祭り

11月16日、町総合公園で、高千穂地区建設産業団体連合会、西臼杵支庁、西臼杵3町主催の「土木の日ふれあい祭り2024」が開催されました。

土木学会が制定した「土木の日(11月18日)にちなんだ恒例行事として、土木・建設業の魅力をアピールする目的で開催。トンネル工事現場の見学会や建設機械の乗車体験、お菓子すくいや射的など、多くの家族連れでにぎわいました。



活力のある住みよい町と生きがいのある町づくり
第32回町民のつどい

11月9日、高千穂町武道館で、第32回町民のつどいが行われました。

式典では、園児の歌やダンス、コーラスグループの合唱、読み聞かせグループ「がらがらごん」の活動発表、大いちょう歌劇団の合唱、高校生ダンスが披露されました。また、町スポーツ協会設立50周年記念として、元サッカー日本代表でサッカー解説者「松木安太郎さん」による基調講演が行われました。



従業員も安心して暮らせる町に
有限会社アズーロより寄付

11月5日、有限会社アズーロ(高須義男代表取締役)から、福祉に役立ててほしいと寄付がありました。

贈呈式では、赤木美咲専務取締役から町長に寄附金が手渡され「昨年に引き続き寄付ができたことをうれしく思う。食に携わる企業として、福祉にも役に立てることがあれば」とあいさつ。

町長は「福祉関連の施策に有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

